

アメリカ伝統の 味に舌鼓

国際理解講座

11/30

11月30日(水)、市民会館で今年度4回目となる国際理解講座(市主催)が行われ、子どもから大人まで、23人がアメリカの伝統的なクッキーづくりに挑戦しました。

この日は、登別市外国語指導助手のニコル・ロバートソンさんとリサ・パスさんが講師となり、材料や調理工程、焼き加減のポイントなど、簡単な英語を交えながらアドバイス。参加者は同じグループになったメンバーと協力して、ピーナッツバターたっぷりの香ばしいクッキーを焼き上げ、アメリカ伝統の味に舌鼓を打ちました。



▲親子三代で参加した家族と講師のニコル・ロバートソンさん



▲しめ縄に飾り付けをする参加者

できました。 手作りのしめ縄

しめ縄づくり体験

12/10

12月10日(土)、郷土資料館で『しめ縄づくり体験』(市主催)が行われました。

この催しは、手作りのしめ縄で新年を迎えてもらおうと毎年この時期に行っているもので、しめ縄には、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』のメンバーが、7月に市内の山林で刈り取り、乾燥させたスゲを使用しています。

36人の参加者は、スゲをねじりながら編み合わせて、縄を丁寧に輪の形にしていき、最後に門松やこのイラストなどで飾り付け、立派なしめ縄を完成させていました。



▲そばの切り方を指導する『SLG』の講師(右)と熱心に耳を傾ける参加者

大晦日の夜は 手打ちのそばで

年越しは手打ちそばで教室

12/3・4

12月3日(土)・4日(日)、郷土資料館で『年越しは手打ちそばで教室』(市主催)が行われ、19人が、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』の指導の下、本格的な手打ちそばの作り方を学びました。講師の手本を見学した後、早速そば粉に水をなじませる『水回し』を始めると、参加者たちは「見るのとは違う」と、講師に教わったコツを思い出しながら、真剣な表情でそばを打っていました。

教室の最後には、講師による打ちたて・ゆでたてのそばを全員で試食。参加者は「今年の年越しそばは手打ちに挑戦したい」と、決意を新たにしていました。